

## [81] 文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339160>

---

出版情報：文學研究. 81, 1984-02-25. Faculty of Literature, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：

# 彙報

## 九州大学文学部文学科関係講義題目

昭和五十八年度第一学期(昭和五十八年四月~九月)

### 国語学

特講	国語学要論		迫野	助教授
演習	抄物資料		"	"
"	国語史資料研究		"	"
特研	国語表記法の研究	(福岡女子大学)	"	"
演習	万葉集卷十		鶴	教授
講義	方言の研究	(山口大学)	添田	助教授
	国文学			
特講	天愚孔平伝		中野	教授
演習	風俗文選		"	"
"	よだれかけ		"	"
特研	近世文人伝		"	"
演習	現代文学作品研究	(教養部)	重松	教授
"	近代作家論		"	"
特研	近代文学研究の諸問題		"	"
講義	日本におけるフランス象徴主義——『海潮音』研究——	(教養部)	清水	教授

" 平安和歌の諸問題(福岡教育大学) 工藤 助教授  
 " 王朝和歌から中世和歌へ(立教大学) 井上 教授

### 中国語学

演習	説文解字段注		岡村	教授
講読	好迷伝		劉	教師
演習	紅樓夢		"	"
"	漢語音韻学	(福岡大学)	佐々木	助教授
	中国文学			
特講	李白論		岡村	教授
演習	文選李善注		"	"
"	白氏文集		"	"
特研	中国文学の諸問題		"	"
演習	唐代伝奇		劉	教師
"	宋詞	(教養部)	合山	助教授
"	現代小説研究	(教養部)	岩佐	助教授
	英語学			
演習	Whorfの言語論		大江	教授
"	文学作品の語学的研究(Iris Murdoch)		"	"
"	作品の語学的研究(Evelyn Waugh)		"	"
"	英文法の研究		"	"
特研	英会話		スマイリー	教師
	英作文		リード	教師
	英作文	(教養部)	岡	助教授



演習	J. C. Chevalier : Essai d'analyse d'un poème d'Apollinaire	田中教授	文法的範疇論(サピア、ウォーフ他)	昭和五十八年度第二学期	富盛講師
特講	ノリンストロム主義	"	ソシュールの言語学(西南学院大)	(昭和五十八年十月〜五十九年三月)	"
特研	J. P. Sartre : Idiot de la famille	西岡助教授	国語学		
演習	J. Giono : L'eau vive	"	特講 国語学要論—文法論—		奥村教授
演習	H. de Balzac : Gambara	"	演習 平曲		"
特研	A. Maurois : Le Climat	"	" 国語学の諸問題		"
演習	(熊本大学) 常岡教授	常岡教授	特研 アクセント史		迫野助教授
演習	Poèmes français du XVIIe siècle	ブーヴィエ教師	特講 国語史		"
演習	Langue et civilisation françaises	"	演習 抄物資料		"
言語学	言語学	"	" 国語史資料研究		"
特講	セム語概説	松田教授	特研 国語表記法の研究		鶴田助教授
演習	意味論	"	演習 万葉集卷十	(福岡女子大学)	"
"	ヘレニズム期のギリシア語	"	講義 方言の研究	(鹿児島大学)	田尻助教授
"	意味論の諸問題	"	臨講 現代日本語	(大阪大学)	宮地教授
特研	国文学	"	国文学		中野教授
演習	言語学の諸問題	早田助教授	特講 天愚孔平伝		"
"	音声学	"	演習 風俗文選		"
"	音韻論	"	" 在津紀事		"
"	理論言語学実習	"	特研 近世文人伝		"
特研	リーチの意味論	林教授	演習 現代文学作品研究	(教養部)	重松教授
演習	リーチの意味論	林教授	近代作家論		"

特研	近代文学研究の諸問題								
演習	江吏部集	(熊本大学)	金原教授		英会話				ピュール教師
講義	蒲原有明の象徴詩	(教養部)	清水教授		英作文				
"	平安和歌の諸問題(福岡教育大学)		工藤助教授		英語音声学				
	中国語学				Chaucer	(教養部)			岡助教授
演習	説文解字段注		岡村教授		英文学	(教養部)			真鍋助教授
講読	好迷伝		劉教師		Lawrence				リード教師
演習	紅樓夢				Swift				
"	漢語音韻学	(福岡大学)	佐々木助教授		John Donne	(教養部)			鬼塚教授
	中国文学				Wordsworth 研究	(教養部)			吉野教授
特講	北朝文学史考		岡村教授		Jane Austen	(教養部)			廣田助教授
演習	文選李善注				18世紀小説	(教養部)			吉田助教授
"	白氏文集				シェイクスピア悲劇	(福岡大学)			柴田教授
特研	中国文学の諸問題				米文学				
演習	唐代伝奇		劉教師		アメリカ文学の展開—20世紀				原口助教授
"	宋詞	(教養部)	合山助教授		マッカーレス研究 (The Ballad of the Sad Cafe and Other Stories)				
"	現代小説研究	(教養部)	岩佐助教授		ヘミングウェイとロスト・ゼネレーション				
臨講	近世日本の漢詩文	(徳島大学)	竹治教授		メルヴィル研究				
	英語学				特研				
演習	英語の輪郭(1)		大江教授		演習	アメリカの劇			ピュール教師
"	文法とそれに関連する諸問題				"	アメリカン・ロマンティズム			
"	機能文法				"	Sixteen Modern American Poets			
特研					独語学	(教養部)			近藤助教授
演習	シェイクスピア時代の英語		リード教師						

演習	中世語学	西田教授	演習	Conversation	(教養部)	高藤助教
"	初級独語会話	オウロウチ教師	演習	G. Feydeau : Le dindon		ブーヴィエ教師
"	中級独語会話	"	演習	仏文学		"
"	独作文	恒吉助教	演習	J. C. Chevalier : Essai d'analyse d'un poème d'Apollinaire		田中教授
特講	中世文学	西田教授	特講	ニンメスロモン主義(總)		"
演習	中世文学 (Tristan)	"	特研			田中教授
特研	論文指導	"	演習	J. P. Sartre : Idiot de la famille		西岡助教
特講	ゲーテの自叙伝	伊藤助教	演習	Mérimée : Le vase étrusque		"
演習	独文学史 (Aufklärung Empfindsamkeit Sturm und Drang)	"	演習	A. Camus : Le mythe de Sisyphe		"
"	二十世紀小説 (Der Mann ohne Eigenschaften)	"	特研	A. Daudet : Les lettres de mon moulin		常岡教授
"	十八世紀小説 (K. Ph. Moritz)	"	演習	Chanson de Roland	(熊本大学)	ブーヴィエ教師
特研	Colloquium	"	演習	Langue et civilisation françaises		"
演習	現代文学	オウロウチ教師	臨講	ルノーの問題	(京都大学)	中川教授
"	言語世俗化類型論(言語の世俗化形式)		演習	言語学		
"	(福岡大学)	稲元教授	講義	言語学概論		松田教授
"	ドイツ現代詩	両角助教	演習	意味論		"
臨講	オーストリア文学 (名古屋大学)	佐藤教授	"	アラビア語I		"
演習	仏語学		"	意味論の諸問題		"
演習	F. Mauriac : Le romancier et ses personnage	田中教授	特研			早田助教
演習	A. Constant : Cécile		特講	音韻論		

演習 東洋語の諸問題

” 理論言語学演習

特研

演習 形態論的手順

” 弁別索性論

” レト・ロマン語学入門 (西南学院大)

富盛 講師

(教養部)

林 教授

### 学会・研究室行事

#### 国語学・国文学関係

○九州大学国語国文学会 (昭和58年6月5日)

『武道伝来記』について

——善と悪の視点から——

南畝・銅脈以前の狂詩

——評判記狂詩とその周辺——

宮沢賢治の短歌

中原中也のダダイズム詩

——「ノート1924」を中心に——

檀一雄初期作品について

「唐音和解」の国語学的研究

岡嶋冠山の唐語学

近世の長編紀行

インドネシアの日本語教育

『伊勢物語』十三・十四・十五段を考える——「みやび」と「ひなび」との出会いを中心として——

吉田 達

○第33回西日本国語国文学会

(於佐賀大学、昭和58年10月8日~9日)

蕪村の立場

「夕霧」論

\*

岡嶋冠山の訳語

久留米崎門学派聞書の地域共通語

方言のアスペクト

中原中也詩における幼児の表象について

鍋島直條と寂源僧正

○「語文研究」第54号 (昭和57年12月発行)

『おくのほそ道』の構想臆断——高館——

『興津弥五右衛門の遺書』論

『月に吠える』形成過程の考察II

——罪人から病者へ——

中原中也「含羞」論

——△在りし日▽の隔絶性について

△紹介▽金原理著『平安朝漢詩文の研究』

後藤昭雄著『平安朝漢文学論考』

○「語文研究」第55号 (昭和58年6月発行)

『狭衣物語』の「宮の中將」をめぐる

大橋 百合子

望月 正道

木部 暢子

中原 豊

井上 敏幸

紫藤 誠也

宮崎 隆広

國生 雅子

中原 豊

工藤 重矩

後藤 康文

「めでたさ」の季節

——天明狂歌の本質—— 久保田 啓一

「老狂人」から「羅生門」まで——「羅生門」前史に

おける視点の獲得と関連して—— 松 本 常 彦

文終止形式から見た荘子抄の成立

唐通事の語学書——「訳詞長短話」管見——大 橋 百 合 子

△紹介▽大内初夫・尾形仍・櫻井武次郎・白石悌三・

中西啓・若木太一編『去来先生全集』 石川 八 朗

○「語文研究」第56号（昭和58年12月発行）

国風・詠物・狂詩——古文辞以前における

遊戯的漢詩文の側面—— 宮 崎 修 多

「雨ニモマケズ」を読む 龍 佳 花

「リツ子その愛・その死」の死生観 長 野 秀 樹

平曲譜本の「清ム」注記 中 村 萬 里

山崎闇齋学派派聞書資料の象徴詞 望 月 正 道

○国語学国文学公開講演会

（於法文系二〇二番講義室、昭和58年12月5日）

比較文学における材源の研究

（熊本大学） 金 原 教 授

現代日本語研究の視界

（大阪大学） 宮 地 教 授

中国文学関係

○中国文芸座談会

第83回（昭和57年12月19日）

詩経の「興」について

傅玄について

新世代の中国当代文学の典型

——女流作家張潔の場合——

第84回（昭和58年1月23日）

史記の中の司馬遷像

高適、その生涯と詩作

吳偉業の変節とその意識

第85回（2月6日）

魚玄機、中国女流詩におけるその存在の特異性

花間集の詞風と編纂意図

当代文学における蔣子龍の位置づけ

——「喬廠長上任記」を中心として——

京劇発展継承問題の方向について

第86回（5月15日）

阮籍「詠懷詩」の反語表現にみる、

その脱俗のあり方について

五言詩の定着過程における新声変曲の意義

第87回（9月25日）

清末民国初思想史における「西学」受容の行程

——譚嗣同・魯迅——

木 元 睦 夫

小 林 孝 子

与 小 田 隆 一

安 積 由 紀 子

西 原 暁 子

中 筋 健 吉

伊 藤 直 子

東 英 寿

岩 男 俊 弘

大 久 保 早 和 子

田 中 順 子

中 村 昌 彦

牧 角 悦 子

劉向と漢代の楚辭

宮野直也

英語学・英文学関係

○日本英文学会第55回大会

(昭和58年5月14・15日 於昭和女子大学)

小説 *The Waves* の対位法

石井康一

シンボジウム

Hardy の詩の現代性

吉野昌昭

○日本英文学会第56回九州支部大会

(昭和58年11月12・13日 於九州大学)

Mrs. Gaskell : *Ruth* 研究——Seduced Woman の数々

大野龍浩

ロマンスの創意——*Women in Love* を中心に

吉村治郎

『密偵』にみるロマンチックの都市観

城島秀子

*King Lear* の圖書的 vision

伊藤健一

Shakespeare 悲劇における "admiration" にあつて

太田一昭

「無垢の歌」と「経験の歌」の対立について

中村ひろ子

『モーラー・ディック』の風と風

高橋勲

Parenthetical Clauses : Form and Meaning

山崎和夫

On Some Stylistic Effects of Repetition

山崎和夫

シンボジウム

大橋浩

語用論——理論的現状とその応用  
特別講演

大江三郎

Grammar and Grammatical Awareness  
in Elizabethan English

John O. Reed

○*Cain* No. 26 (昭和58年12月発行)

『冬の物語』と聖書のヴィジョン——文学と神学の邂逅

伊藤健一

On the Similes and Metaphors in

*Shakespeare's Sonnets* with Special

Reference to *His Love*

岩本誠治

『無垢の歌』——その「静」の本質と「夜」の諸相に

中村ひろ子

Mrs. Gaskell : *Ruth* 研究——Seduced Woman

大野龍浩

の数々

城島秀子

『密偵』における都市と人間

吉村治郎

ロマンス『恋する女たち』

高橋勲

『白鯨』の海——その風と風

高橋勲

繰り返しによる皮肉表現に関する一考察

大橋浩

○日本アメリカ文学会第22回全国大会  
(昭和58年10月15・16日 於純心女子短期大学)

シンボジウム

原口遼

フォークナー研究の課題

原口遼

○第22回シェイクスピア学会

(昭和58年10月22・23日 於新潟大学)

パネル・ディスカッション

シェイクスピア喜劇における〈発見〉について

柴田 稔彦

独文学関係

○日本独文学会第37回総会研究発表会

(昭和58年5月9日・10日 於東京都市センター)

○日本独文学会秋季研究発表会

(昭和58年10月6日・7日 於静岡大学)

芸術家小説としての K. Ph. モーリツの

『アントーン・ライザー』

伊藤 利男

○第35回日本独文学会西日本支部総会研究発表会

(昭和58年11月26日・27日 於九州大学文学部)

ゲーテの『ファウスト』における

グレートヒェン悲劇について

中山 昌弘

ヘルマン・ヘッセの作品における主人公の死について

守 志穂

仏文学関係

○一九八三年度日本フランス語フランス文学会春季大会

(昭和58年5月28・29日 於早稲田大学)

Th. Gautier の *Fantasio* について

森 宗 崇

○第一回九州大学仏語仏学研究発表会(昭和58年5月22日)

Sur *Scenes de la vie Privée* de 1830 萩原直幸

Sur les *Pensées* de Pascal 渡辺恵子

Le goût éternel du silence et de la liberté

dans l'univers camusien 水野真理

*Le Misanthrope* ou l'absence du héros 田島俊郎

Etude sur le dandyisme 森 宗 崇

Naissance d'une épistolaire 寺迫紀子

Sur la religion des *Faux-Monnayeurs* 山本和道

J. J. ルソーの作品における「疎外」の問題について

山下高之

○第二十回九州フランス文学会(昭和58年11月27日於教養部)

『転落』——哀しき冗長と隠されたる希望——

水野真理

Huymans における satanisme について

湯原かの子

『失なわれた時を求めて』における「時の副詞」の用法

秋山怜子

「カラクテルとエッセー」について

坂本 勲

○フランス文学論集第十八号(昭和58年10月発行)

Molière における *Don Juan* の位置 田島俊郎

《Tu vis, je bois l'azur...》試論 白土康代

*Pensées* における「心情」について 中久保悦子

Problemes de l'unité—Pour la sémantique

富 永 好 文

○Etude de la langue et la litterature francaises

de l'Universite du Kyushu No2 (昭和58年11月発行)

Sur les Pensées de Pascal Keiko Watanabe

Le Misanthrope ou l'absence du heros Toshio Tajima

Naissance d'une epistoliere Noriko Terasako

Etude sur le dandysme Takasni Morimune

Sur la religion des Faux-Monnayeurs Kazumichi Yamamoto

言語学関係

○九大言語学研究室報告第4号 (昭和58年3月発行)

フランツ・ボーアズの文法的過程論

——言語学史的意義—— 林 哲 郎

The Fossilized Prefix m in Taga log and Its Poe la ted Problem 平 野 尊 識

方言使用の地域差・男女差

——人口急増都市・福岡にみられる言語接触——

九州方言における「来る」について 陣 内 正 敬

満洲語文語における疑問表現について 大 里 泰 弘

E・コセリウの「言語地理学」について 久 保 智 之

卒業論文要旨 (一九八三年一月提出) 富 盛 伸 夫

熊本市方言における動詞・形容詞の活用 水 上 直 人

日本語における価値表現「よい」の構造 加 藤 由 美 子

早口言葉における言い間違いの分析 出 雲 一 夫

福岡市方言における待遇表現の年代差 河 島 一 久

Sandhiの分析—外連声について— 永 野 浩 子

古代ハブライ語の移動を表す動詞について 成 見 和 子

英語の無生物主語の日本語における取扱について 畠 山 貴 恵

日本語次元形容詞の比喩的表現について 平 山 裕 美 子

性別を表す接頭語のついた語彙について 藤 田 宜 子